

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2016-07-01

No. 77



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所
<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。
コスモス ニュースレター EMC & 安全 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-4-13 Ed.1.0, A1, A2 高調波及び次数間高調波のイミュニティ.....	3
IEC: CISPR: スマートグリッドの EMC に適用可能な必須規格.....	9
IEC: CISPR 規格の使用者のためのガイダンス文書を紹介.....	10
IEC: 新規格リスト.....	12
ISO: 新規格リスト.....	14
国際テーマ: UNECE: UN 国際条約の更新により自動運転の道を開く.....	16
国際テーマ: CB スキームおよび関連サービスに関する新しい IECCE ウェブサイト.....	16
国際テーマ: 移転した欧州第三者製品認証システム.....	17
国際テーマ: ウガンダが強制規格および製品表示 (Q マーク) を導入.....	17
国際テーマ: 中国の消費者製品のリコールに関する行政措置.....	18
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	18

USA: FCC: KDB: Part 15 サブパート E の要求事項の対象となる U-NII 装置 試験手順.....	19
USA: DOL: OSHA: NRTL プログラム指令改訂: ISO/IEC 17025 などへの適合順守.....	20
USA: CPSC: 子供向け製品第三者試験: 子供向け製品証明書 (2/2).....	21
USA: FDA: 心血管用医療機器: 体外心臓マッサージ器、及び心肺蘇生補助装置の再分類.....	22
USA: DOE: バッテリー充電器の試験手順を修正する最終規則を公開.....	22
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	23
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	24
USA: IEEE: 新規格リスト.....	25
カナダ: 官報通知 DGSO-002-16 - 2 GHz 内で利用可能な PCS サービス スペクトラム.....	25

EU: 英国の EU 離脱の選挙結果: 27 カ国首脳の間共同声明発表.....	27
EU: 新指令 (LVD, EMC, RED) の適用に関するガイダンス.....	28
EU: 整合規格リスト更新: 適合性評価及び MS 規制、娯楽用船舶指令.....	30
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	31
EU: ETSI: 新規格リスト.....	34
オーストラリア: 家庭内 PLT 規制への変更の提案: EN 50561-1 を採択.....	36

中国: CQC: 交流モータキャパシタ製品認証への新版規格および実施規則の実施.....	37
中国: CQC: 太陽光発電収束設備認証規則改訂に関する通知.....	37
中国: CQC: 風力タービン部品製品の認証規則シリーズ改訂の通知.....	38
中国: CQC: 「小型カートリッジヒューズ」の認証での新版認証規則の実施.....	38
中国: 新規格リスト.....	39
台湾: 新規格リスト.....	39
韓国: 申告せず開設することができる無線局の無線機器: 未来創造科学部告示.....	40
韓国: 無線設備規則: 917~923.5 MHz 帯 RFID / USN などの無線設備の出力基準値アップ.....	40
韓国: 産業通商資源部: 中国、エネルギー効率の表示の改正施行、6 月→10 月に延期.....	41

総務省: 衛星基幹放送による超高精細度テレビジョン放送の実用放送: 諮問及び答申.....	42
総務省: 情報通信審議会 先端技術 WG (第 6 回) 配布資料: 5G に向けたロードマップ.....	43
経済産業省: 英国の EU 残留・離脱を問う国民投票の結果: 中小企業等への相談窓口.....	43
国土交通省: バックミラー等に代わる「カメラモニタリングシステム」の基準を整備.....	44

ちょっといっふく〜小クイズコーナー ウガンダで導入されている認証マーク.....	18
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内.....	26
社長の独り言.....	45

IEC: 規格解説: IEC 61000-4-13 Ed.1.0, A1, A2 高調波及び次数間高調波のイミュニティ

「IEC 61000-4-13 Ed.1.0 (2002-03) 電磁両立性(EMC)―第 4-13 部：試験及び測定技術―交流電力ポートにおける電力線搬送シグナリングを含む高調波及び次数間高調波の低周波イミュニティ試験」は、修正 1(2009-05) 及び修正 2(2015-12)で補完されている。

- 本規格の目的は、高調波及び次数間高調波、及び電力線搬送シグナリング周波数に電子/電気機器がさらされた際のその機能イミュニティを評価するための、共通基準を規定することである。
- 試験手順 (8)項 試験の適用 (8.2)項:
 - ・試験選択のフローチャートが頻繁に変更されている。クラス 2 機器は、A1 の変更で必ずマイスターカーブ試験を実施することになったが、A2 の変更で元に戻り、マイスターカーブ試験が必要とされる場合とされない場合の選択肢を経る工程に変更になった。
 - 又、クラス 3 機器は、当初マイスターカーブ試験が必要とされる場合とされない場合の選択肢を経る工程が適用されたが、A1 の変更で、それを経ない工程に落ち着いている。
 - ・本項の眼目は、試験時間の短縮を図るためフローチャートに従い試験を実施することである。
 - ・マイスターカーブ試験は、図 1 のフローチャートによると、クラス 2 製品でこれが要求される場合実施し、要求されない場合は実施しない。要求される場合とは、IEC 60335-1 19.11.4.7 項による試験要求などがある。

IEC: CISPR: スマートグリッドの EMC に適用可能な必須規格

- スマートグリッドが、無線周波スペクトラムの保護を確保し、妨害の苦情無しに展開され、その潜在性を達成しその有益性を発揮するためには、エミッション問題が効果的に対処されなければならない。
- CISPR は、「スマートグリッドにおける EMC へのガイド」を作成した。これは、スマートグリッドと接続し、そして、それとの相互運用を行うための機器を設計し開発する際考慮しなければならない問題点に対し、更に深い洞察を与えるガイドである。

IEC: CISPR 規格の使用者のためのガイダンス文書を紹介

- 本文書は、貴殿の製品、システム、及び設備に適用される CISPR EMC 規格の適切な選択において、貴殿を案内するよう提供される。
本文書は、又、製品、システム、及び設備の EMC 側面をカバーする発行済み CISPR 規格の最新版について、その概観を提供する。

IEC: 新規格リスト: CISPR 35:2016 PRV: マルチメディア機器の電磁両立性イミュニティ要求事項 発行

USA: DOL: NRTL: NRTL プログラム指令改訂: ISO/IEC 17025 などへの適合順守

- NRTL 指令が改訂され、ISO/IEC 17025、ISO/IEC 17065 などへの適合順守の必要性など、いくつかのポリシーが変更された。

EU: 英国の EU 離脱の選挙結果: 27 カ国首脳の間共同声明発表

EU: ETSI: 新規格リスト

- 「ETSI EN 303 340 V1.1.1 (2016-05) 地上デジタル TV 放送受信機 Digital Terrestrial TV Broadcast Receivers; Harmonised Standard covering the essential requirements of article 3.2 of Directive 2014/53/EU」が、発行された。

社長の独り言

平成 28 年 6 月 21 日

濱口 慶一

すっかり、雨降りの多い梅雨時になりました。紫陽花の綺麗な時期ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？うっとうしい雨と捉えるか、稲作作りや野山の木々には良い恵みと捉えるかで感じる気持ちもかなり違いますね。

趣味の日本蜜蜂ですが、今年は末娘の嫁いだ鈴鹿に置いた巣箱に一群が入り、それを自宅に移動して来ました。元気で野山の蜜を集めてくれています。この梅雨の時期は日本蜜蜂達にも試練の時期です。要は巷に蜜のある花、蜜源が少なくなるので、働き蜂をトンドン育成するだけの蜜と花粉を確保出来ないで、場合によっては幼虫を間引きする行為があります。そのまま成長させると群の生活習慣？でしょうか、蜜不足などが生じると危険として、幼虫を巣から排除する行為があるのです。巣の中に異変が生じての行為と重なる時もあるので、休みには日本蜜蜂の攻撃を受けながら、巣の検査をして巣虫などの異変が生じた時は害虫駆除をしないと、群自体の逃亡につながります。

最近のことですが、毎朝、巣から出された幼虫が巣門の近くに捨てられているのに、夕方帰宅して掃除をしようと見てみると、非常に綺麗に清掃されていて幼虫の死骸の一つも残っていない状態なのです。家内が玄関先の汚れを気にして掃除してくれたものと理解していましたが、今朝訪問客に遭遇してしまいました。野山に住むムクドリ？ヒヨドリ？か、一心不乱に日本蜜蜂の巣箱の巣門（蜜蜂の出入り口）の前で、蜜蜂を摘み食いしているのを見てしまいました。自然の中の現象と捉えて放置すべきか？蜜蜂にとっては大変な敵を退治するべきか悩んでいるところですが、日本蜜蜂が沢山蜜をお腹に入れて戻ってくるのを食べるのは、多分栄養も有って当分続くように思われるので、退治の方向で対応するしかないかなと、思うこの頃です。

もうひとつ、長い間ほとんどしていなかった黒鯛釣りの夜釣りに再度挑戦していますが、4 月頃の乗っ込み時期から、4 度程釣りに出かけたのですが、4 回とも成果無しの状況が続いて気落ちしています。しかしどうして成果が出ないのかと真剣に考えると色々な原因が自分に有るように思うことができました。撒き餌をするのですが、しばらく来ていなかったために、できる限り撒き餌のポイントを集中させることを守っていなかったことに気づいたのです。先週 4 回目の夜釣りに出かけて、成果無しで諦めて帰宅を決意する前に、海中を観ると何か大きな魚が見えます。何か？とライトを照らすと目標の黒鯛ではないですか。縞模様も確認できる超大物に加え、数匹の黒鯛も寄せエサの撒き餌にはきちんと反応して集まってきていたのですが、釣れない焦りから彼方此方に撒き餌をしてしまった悪影響で自分の竿のポイントには寄って居ないという結果、釣果が出ないと気づいたのです。

この原稿が皆様に届いている頃は、弊社も創立 29 年期を無事に迎える 6 月 30 日を過ぎていていると思います。国内で唯一の民間の認証機関として、製品安全分野では最高の評価技術を提供できるように技術志向の会社に社員共々頑張っていきたいと思います。ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション 業務推進部まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2016-07-01 (No. 77)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2016 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。